

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京家政大学
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
家政学部	児童学科 児童学専攻	夜・通信	0	0	13	13	13	
	児童学科 育児支援専攻	夜・通信			13	13		
	児童教育学科	夜・通信			14	14		
	栄養学科 栄養学専攻	夜・通信			13	13		
	栄養学科 管理栄養士専攻	夜・通信			13	13		
	服飾美術学科	夜・通信			13	13		
	環境教育学科	夜・通信			13	13		
	造形表現学科	夜・通信			13	13		
人文学部	英語コミュニケーション学科	夜・通信	0	0	14	14	13	
	心理カウンセリング学科	夜・通信			14	14		
	教育福祉学科	夜・通信			14	14		
健康科学部	看護学科	夜・通信	0	0	13	13	13	
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	夜・通信			13	13		
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	夜・通信			15	15		
子ども学部	子ども支援学科	夜・通信	0	0	14	14	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/2021_jitsumu_daigaku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京家政大学
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/assets/2021yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤(理事)	私立大学 非常勤職員	令和 2年6月5日 ～ 令和 5年6月4日	同窓会
非常勤(理事)	私立女子短大 非常勤講師	令和 2年6月5日 ～ 令和 5年6月4日	同窓会
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京家政大学
設置者名	学校法人 渡辺学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各学部学科の授業科目について、授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等に加えて、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な授業外学修、客観的な成績評価基準などを、学生等に対して明確に示すための資料として、年間の授業計画書(シラバス)の作成要領を配付し、シラバスを作成している。授業計画書(シラバス)は、当該年度当初に公表している。	
授業計画書の公表方法	各学部学科の授業科目のシラバスの公表方法は、WEBシラバスよりカテゴリ検索することにより公表している。 https://tk-ptl.tokyo-kasei.ac.jp/campusweb/slbskgr.do?clearAccessData=true&contentam=slbskgr&kjnmnNo=3
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各学部学科は、各学生の学修成果に基づき、学生にあらかじめ示した客観的な成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。 各授業の学修意欲、学修成果の把握のための、試験やレポート、卒業論文などの適切な成績評価の方法等については、授業担当者がWEBシラバス上に明記している。 成績評価の方法・基準は、HPで公表している。 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/disclosure/seiseki2021.pdf	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各学部学科は、成績評価において、GPAを客観的な指標として設定し、GPAの算定方法を、公表している。GPAによる成績分布状況の情報は、各学部学科に提供され、学生の成績の相対的位置を把握することができる。これに基づき、GPAにおける成績指導等を実施している。	

GPA（Grade Point Average）について

GPA は、履修登録した科目の成績評価にグレードポイントをつけて、1 単位あたりの成績の平均値を算出したものである。グレードポイントは成績評価に基づき下表の通りとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
グレードポイント	4	3	2	1	0

GPA は次の計算式により算出される。

$(\text{秀の修得単位数} \times 4) + (\text{優の修得単位数} \times 3) + (\text{良の修得単位数} \times 2) + (\text{可の修得単位数} \times 1) + (\text{不可の単位数} \times 0)$

履修登録科目の単位数合計

- * GPA は「年間 GPA」（年度ごとの GPA）と「通算 GPA」（入学以後の累積 GPA）の 2 つに分けられる。
- * GPA は小数点第 3 位を四捨五入する。
- * 成績評価が“合格”、“認定”の科目の単位は GPA 算出の対象外とする。
- * 成績評価が“不可”の科目を次年度以降に再履修し単位を修得した場合、当該科目の“不可”の単位は GPA 算出の対象外とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/digitalbook/R03binran/itabashiD1/index.html?pNo=58>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

各学部学科は、学位授与の方針を定め、修得すべき学修成果を「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「総合的な学習経験と創造的思考力」に分けて明示し、公表している。学位授与の方針、学修成果に係る評価基準により認定された学生の修得単位数等を踏まえ、学則に明記された卒業要件に基づき、卒業の認定を実施している。

ディプロマポリシー

校祖渡邊辰五郎は、女性が経済的に自立することに加え、自らの意志と判断でよりよい社会の形成に貢献できることを目指す「自主自律」を、建学の精神として本学の礎となる和洋裁縫伝習所を設立した。そして、第二次大戦後、東京家政大学の設立に尽力した初期の学長である青木誠四郎は、これからの社会において自主的・自律的に生活していくためには、「愛情・勤勉・聡明」をもたなければならないと生活信条を掲げ、その著『若い女性(ひと)』のなかで「愛情・勤勉・聡明」について次のように述べている。

「愛情」とは「他人の立場に立ってその人の幸福のためにどうしなければならないかを考え、それを包んで他に対すること」である。

「勤勉」とは「他のために自分のために働くこと」である。

「聡明」とは「よく考えられた生活」を創り、営むことである。

こうした歴史を踏まえ、本学では、「自主自律」の生き方ができることを教育目的とし、この教育目的の実現を目指し「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り、

営むことができることを教育目標と定めている。そして、この教育目標の具体的な像として、以下に掲げた資質能力を総合的に身につけた学生に対して、学位を授与するものとする。

【知識・技能】

社会において、「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営むのに必要となる幅広い教養とそれに支えられた自ら学ぶ力を有している。(聡明)

自らの専門領域の知識・技能と研究方法を身につけ、社会においてそれを実践的に生かすことができる。(聡明)

【思考力・判断力・表現力】

他者および自己への愛情をもって、他者の意見や価値観に耳を傾けつつ、自らの考えを再構築する思考力・判断力・表現力を有している。(愛情・勤勉・聡明)

【主体性・多様性・協同性】

他者の幸福と自己の幸福を重ね合わせ、それを踏まえて他者や自己に接することができる。(愛情)

勤勉に「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営んでいくことができる。(勤勉・聡明)

社会のさまざまな課題に向き合い、すべての人が「よく考えられた生活」を自主的・自律的に創り、営むことができるよりよい社会を協同的に形成することができる。(愛情・勤勉・聡明)

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京家政大学
設置者名	学校法人 渡辺学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/c747d261318807c63c9efdbd88de0a2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/4d296e396bc63d86b6963c869b737415.pdf
財産目録	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/135bc3bb73f7dee03060b819fc8b3323.pdf
事業報告書	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/c8a2bd1b678fb9304ff7930801ed1893.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/49a19c56ce007ec622ad11915af98e41.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/self_check/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 家政学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/home_economics/index.html)
(概要) 家政学部は、各専門分野の学術的知識と伝統ある充実した実践技術を教授し、人と人の

繋がりを大切にする心を育み、豊かな生活を築くとともに社会で活躍する人材を育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。

- ・児童学科は、子ども一人ひとりを尊重し、その健全な心身の形成ができる人材養成を目的とするそのための学術的・実践的探究を通し、幼稚園教諭、保育士などの免許・資格の取得を軸に、高度な専門性と豊かな心を持ち教育と保育に貢献する人材を育成する。
- ・児童教育学科は、知的探究心が旺盛で、豊かな心を持ち、健康な身体をもった児童の育成のできる教員を養成することを目的とする。そのために、理論とともに優れた実践力を兼ね備えた小学校教諭を主に、幼稚園の教諭を育成する。
- ・栄養学科は、人々の食と健康の向上に尽力する人材を養成する。そのために食品学、栄養学、社会医学・臨床医学等の分野で知識、技能を教育し、研究を指導・遂行する。また、栄養士・管理栄養士、中学校・高等学校教諭・栄養教諭等の資格・免許を取得して社会で活躍する人材を育成する。
- ・環境教育学科は、「暮らし」という身近な環境中の諸問題を考察し、問題解決を実践できる教育指導者・技術者の育成を行う。このような人材を育成することで、地域レベルのみならずグローバルズムに基づいた環境改善に対する問題提起と問題解決を実践できる人材を輩出することを教育研究上の目的とする。
- ・服飾美術学科は、デザイン、服飾造形、服飾工芸、アパレル設計、服飾文化、ビジネス、素材・加工・整理を総合したカリキュラムのもとに、服飾を科学とファッションの両面からとらえ、アパレル・教育界に貢献できる人材を育成する。
- ・造形表現学科は、社会環境の変化や家政学部的美術に相応しい教育内容に応えるため、デザイン、アート、映像、工芸、建築、インテリアを基礎から総合的に学ぶことにより、生活空間を美しく快適に創造し、たくましい心と感性を持つ人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）

（公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html）

（概要）各学部共通

各学部学科は、学位授与の方針を定め、修得すべき学修成果を「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「総合的な学習経験と創造的思考力」に分けて明示し、公表している。学位授与の方針、学修成果に係る評価基準により認定された学生の修得単位数等を踏まえ、学則に明記された卒業要件に基づき、卒業の認定を実施している。

各学科のディプロマポリシーは、HPで公開している。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

（公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html）

（概要）各学部共通

教育目標である「愛情・勤勉・聡明」にもとづいた生活を創り、営むことができることを目指して、幅広い教養と自ら学ぶ力を育む「共通教育科目」（家政学部・人文学部）・「基礎教養科目」（健康科学部・子ども学部）、各学科の専門領域の知識・技能と研究方法を学修するために実践的な科目を効果的に配置しつつ系統的に構成した「専門教育科目」、また資格取得に関する「資格関係科目」を設置し、4年間にわたる学修全体に効果的に寄与する

教育課程を編成している。 各学科のカリキュラムポリシーは、HP で公開している。
入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー） （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html ）
（概要）各学部共通 本学の建学の精神と生活信条に基づき、入学者を本学が積極的に受け入れるため、次のような人を求める。 1. 建学の精神である自主自律を目指す女性 ・専門的な知識・技術・技芸を身につけ、社会に貢献し活躍することを志す女性 ・広い教養と健全な常識を有し、自主的自律的な人生を望む女性 ・現代の諸課題に対し女性としての感性と知性を発揮し、将来希望の持てる世の中にしていくことを目指そうとする女性 2. 生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を大切にする女性 ・自己のみならず他者への愛情も持ち、それに報いるための勤勉さと、妥当で正当な判断の出来る聡明さを身につけようと志す女性 ・自己の幸福と周囲の人達の幸福を重ね合わせることでできる女性 ・グローバルスタンダードとしての生活技術の豊かさを収めながら、心の大切さを忘れない女性 各学科のアドミッションポリシーは、HP で公開している。

学部等名 人文学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/humanities/index.html ）
（概要） 人文学部は、専門的な学術の理論と実践的な知識や技術を教授し、国際的な視野に立ち、人間理解を深め、多種多様な考え方を受容できる能力を養い、社会で活躍する人材を育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。 ・英語コミュニケーション学科は、国際化時代に対応できる英語によるコミュニケーション能力を養成し、英米文学・英語学・英語教育に関する学識を深め、視野の広い総合力を持った人材を育成する。 ・心理カウンセリング学科は、医療・教育・産業等の社会のあらゆる領域において、心理学の知識と対人関係スキルを備えた実践力のある人材を育成する。 ・教育福祉学科は、複雑化した社会における生涯にわたる人間関係の諸問題に対応する総合的な力を育成し、ライフコースを支援できる専門知識や技術を持つ人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー） （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html ）
（概要）各学部共通
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）

(公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html)
(概要) 各学部共通
入学者の受入れに関する方針 (アドミッションポリシー)
(公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html)
(概要) 各学部共通

学部等名 健康科学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/health_sciences/index.html)
(概要) 健康科学部は、看護及び医療の分野で、科学的根拠に裏づけされた知識・技術と生命の尊厳と人格を尊重する態度を涵養し、あらゆる年代の人々の健康の保持増進と自分らしく「生活する」ことを支援できる人材を育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。 ・看護学科は、専門知識と、保健・福祉・看護の基盤となる援助的人間関係を成立・発展させる技術を教授し、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし、健康の保持増進と生活の質を維持する看護実践ができる看護師・保健師・助産師を育成する。 ・リハビリテーション学科は、基礎知識と専門知識技術を基に乳幼児から高齢者までを対象に、 作業療法学専攻では、人の“こころ”、“からだ”、“生活”に焦点を当て、その人らしい生活が獲得できるように支援できる人材を育成する。 理学療法学専攻では、疾病や傷害に起因する機能や形態障害に対して基本的身体能力や移動能力の改善を支援できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (ディプロマポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html)
(概要) 各学部共通
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラムポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html)
(概要) 各学部共通
入学者の受入れに関する方針 (アドミッションポリシー) (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html)
(概要) 各学部共通

学部等名 子ども学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/child_studies/index.html)

(概要) 子ども学部は、健やかな生命と豊かな人格を目指す幼児教育・保育、多様なニーズに応じた幼児教育・保育、園・家庭・地域社会との一体的幼児教育・保育、子どもと未来を育む幼児教育・保育、研究と研鑽を基盤とした幼児教育・保育ができる人材を育成することを、人材養成・教育研究上の目的としている。 ・子ども支援学科は、基礎教養・子ども学理論・子ども学実践・特別支援教育・健康保育・総合研究と多方面にわたる学修に基づき、一人ひとりの子どものより望ましい育ちを支援できる幼児教育・保育の人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー） （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/diploma_policy/index.html）
(概要) 各学部共通
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー） （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/curriculum_policy/index.html）
(概要) 各学部共通
入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー） （公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/admission_policy/index.html）
(概要) 各学部共通

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/digitalbook/R03binran/itabashiD1/?pNo=6

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5 人	—					5 人
家政学部	—	45 人	34 人	19 人	19 人	0 人	117 人
人文学部	—	14 人	13 人	7 人	3 人	0 人	37 人
健康科学部	—	17 人	12 人	16 人	13 人	0 人	58 人
子ども学部	—	9 人	7 人	1 人	4 人	0 人	21 人
教養部（一般教育）		0 人	0 人	5 人	1 人	0 人	6 人
附属研究所		1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1 人
その他		0 人	0 人	0 人	1 人	0 人	1 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		437 人					437 人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 各教員の学位 / 東京家政大学研究者情報データベース https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/assets/gyoseki_soshiki_gakui.pdf https://tk-kenkyugyoseki.tokyo-kasei.ac.jp/tkuhp/KgApp
c. F D (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
家政学部	945 人	987 人	104.4%	3,862 人	4,031 人	104.4%	41 人	22 人
人文学部	270 人	253 人	93.7%	1,110 人	1,158 人	104.3%	15 人	1 人
健康科学部	180 人	191 人	106.1%	720 人	720 人	100.0%	0 人	0 人
子ども学部	120 人	85 人	70.8%	480 人	476 人	99.2%	0 人	0 人
合計	1,515 人	1,516 人	100.1%	6,172 人	6,385 人	103.5%	56 人	23 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
家政学部	1,026 人 (100%)	11 人 (1.1%)	946 人 (92.2%)	69 人 (6.7%)
人文学部	319 人 (100%)	10 人 (3.1%)	283 人 (88.7%)	26 人 (8.2%)
健康科学部	90 人 (100%)	1 人 (1.1%)	89 人 (98.9%)	0 人 (0%)
子ども学部	92 人 (100%)	0 人 (0%)	87 人 (94.6%)	5 人 (5.4%)
合計	1,527 人 (100%)	22 人 (1.4%)	1,405 人 (92.0%)	100 人 (6.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

各学部学科の授業科目について、授業名、担当教員名、講義目的、各回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等に加えて、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な授業外学修、客観的な成績評価基準などを、学生等に対して明確に示すための資料として、年間の授業計画書（シラバス）の作成要領を配付し、シラバスを作成している。授業計画書（シラバス）は、当該年度当初に公表している。各学部学科の授業科目のシラバスは、WEBシラバスよりカテゴリ検索することにより公表している。

<https://tk-ptl.tokyo-kasei.ac.jp/campusweb/slbsskgr.do?clearAccessData=true&contenam=slbsskgr&kjnmnNo=3>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

各学部学科は、各学生の学修成果に基づき、学生にあらかじめ示した客観的な成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。各授業の学習意欲、学修成果の把握のための、試験やレポート、卒業論文などの適切な成績評価の方法等については、授業担当者がWEBシラバス上に明記している。成績評価の方法・基準は、HPで公表している。

学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
児童学科	124 単位	有・無	単位
児童教育学科	124 単位	有・無	単位
栄養学科	124 単位	有・無	単位
服飾美術学科	124 単位	有・無	単位
環境教育学科	124 単位	有・無	単位
造形表現学科	124 単位	有・無	単位
英語コミュニケーション学科	124 単位	有・無	単位
心理カウンセリング学科	124 単位	有・無	単位
教育福祉学科	124 単位	有・無	単位
看護学科	124 単位	有・無	単位
リハビリテーション学科	128 単位	有・無	単位
子ども学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：	
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：	

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

(概要)

交通アクセス・各校舎配置図

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/access/index.html>

板橋キャンパス紹介

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/campus_guide/itabashi.html

狭山キャンパス紹介

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/campus_guide/sayama.html

教育研究等環境の整備に関する方針

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/policy/research_env_policy.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
家政学部	児童学科	740,000 円	260,000 円	370,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	390,000 円	2 年次
	児童教育 学科	740,000 円	260,000 円	370,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	390,000 円	2 年次
	栄養学科	740,000 円	260,000 円	385,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	405,000 円	2 年次
	服飾美術 学科	740,000 円	260,000 円	380,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	400,000 円	2 年次
	環境教育 学科	740,000 円	260,000 円	385,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	405,000 円	2 年次
人文学部	英語コミュニ ケーション学科	740,000 円	260,000 円	355,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	375,000 円	2 年次
	心理カウンセ リング学科	740,000 円	260,000 円	380,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	400,000 円	2 年次
	教育福祉 学科	740,000 円	260,000 円	380,000 円	1 年次、3～4 年次（除入学金）
		760,000 円	—	400,000 円	2 年次
健康科学 部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	550,000 円	1 年次
		1,020,000 円	—	570,000 円	3～4 年次
	リハビリテーショ ン学科	1,000,000 円	300,000 円	500,000 円	1 年次
		1,020,000 円	—	520,000 円	3～4 年次
子ども学 部	子ども支 援学科	740,000 円	260,000 円	370,000 円	1 年次
		760,000 円	—	390,000 円	3～4 年次

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 修学支援 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/academic_support/about_support.html 履修などの指導・支援 入学後には Web 履修登録の方法、ポータルサイト（学生生活を送るうえで必要な情報を Web 上で提供する窓口システム）の利用方法についてガイダンスを行っている。学科・科ごとにフレッシュマンセミナーを実施し、所属の教員より免許・資格の取得方法、履修方法などの指導を行っている。 また、随時、在学生からの履修上の相談や免許・資格取得の相談に応じており、卒業学年生に対しては各種免許・資格の一括申請説明会を開催し、各種免許・資格取得を支援している。履修登録期間中は、担当部署窓口、履修登録相談コーナー（履修サポートデスク）などで、円滑に履修登録ができるよう支援している。 なお、現在の説明会・履修登録相談コーナーはオンライン等で実施。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 進路選択に関する支援 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/career/employment/2021career_kouza.pdf 建学の精神である女性の「自主自律」を体現できる卒業生を輩出するために、次の方針の下に組織的な

キャリア支援を実施する。 ・学生のキャリア形成に資するために、正課の教育課程と正課外の支援を有機的に構成した機会やプログラムを提供する。 ・学生自らが自身の進路を決定できるよう、学生からの相談に応じる。 ・学生が的確な判断や決定ができるよう、情報の収集と提供に努める。 ・学生の就職活動を支援するために、卒業生の就職先を始めとして、企業・施設などとのネットワークの強化を図る。 ・個々の学生の主体的な活動（行動）を促進するために、教職員が連携・協働を図る。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 心身の健康にかかる支援 https://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/disclosure/academic_support/about_support.html 板橋キャンパスの保健センターには、心身の健康や学生生活を支援する保健室と学生相談室があり、狭山キャンパスには、保健室・学生相談室がある。保健室には、病気や怪我などに的確な応急処置ができるよう看護師が常駐している。学生相談室では、学生生活上の悩みや不安についての解決の糸口を、学生自身が見つけられるよう、カウンセラーが常駐して、学生や保護者からの相談に対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/research/index.html>